

授業科目	開講年次	開講期	単位数	時間数	講師
国際看護	3年次	後期	1	15	吉田

授業概要					
諸外国との保健・医療・看護における国際交流と協力の現状のしくみについて学習し、その必要性や意義を認識すると共にこれからの看護の展望について考える (諸外国の医療・看護の実情を知り、諸外国との協力の必要性を理解する)					
回	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	
1	教科書を読んでおく	1. 国際看護を学ぶ意義 1)国際的視野を持つことの意味 2)今なぜ国際看護学が必要とされるのか 3)国際看護学とは何か	講義	復習	
2	教科書を読んでおく	1. グローバリゼーションの視点で世界を知る 1)グローバリゼーションの視点とは何か 2)国とは何か、国の数(日本政府が認める) 2. 世界の情勢と問題 1)歴史的変遷と現代の情勢 2)世界の課題と解決方法 ①プライマリヘルスケア ②ミレニアム開発目標 ③国際協力機関	講義	復習	
3	教科書を読んでおく		講義	復習	
4	教科書を読んでおく	1. 国際協力のしくみ 1)国際連合 2)ODAとJICA 3)海外青年協力隊 4)NGO	講義	復習	
5	教科書を読んでおく	1. 国際看護活動のしくみと現状 1)海外での看護活動 ①海外で看護活動を行う意味 ②国際看護活動を行ううえで看護師に求められる力 2)在日外国人への看護活動 ①在日外国人の現状と健康課題 ②在日外国人への看護の実際	講義	復習	
6	教科書を読んでおく		講義	復習	
7	教科書を読んでおく	1. 文化の理解 1)文化とは何か ①女性性器削除 ②早婚 ③教育など 2)多文化共生社会 3)異文化と自文化理解 2. 文化を考慮した看護 1)レイニンガーの異文化看護理論 2)異なる文化背景の支援対象を理解するモデル	講義	復習	
8	教科書を読んでおく		講義	復習	
評価方法	講義の出席数・参加態度、事前学習、事前学習、ペーパーテスト等で総合的に評価を行う				
教科書	医学書院:系統看護学講座 看護の統合と実践(3) 災害看護学・国際看護学				

授業科目 総合看護技術	開講年次 3年次	開講期 前期	単位数 1	時間数 30	講師 張替
----------------	-------------	-----------	----------	-----------	----------

授業概要					
既習の知識、技術を統合し、看護に活用できる知識、技術につなげる事が出来る基礎的能力を養う					
回	事前学習	授業計画・授業内容	授業方法	事後学習	
1	専門分野Ⅰ・Ⅱについて復習	1) オリエンテーションの実施 2) グループに2事例の紹介 教員の事例説明を聞き、患者像をイメージする。 3) 情報の整理 (1) 常在条件・病理的状态・基本的欲求の情報を整理する。 (2) 充足・未充足を判断する。	講義 演習	グループで話しあい、まとめる	
2		1) 安全・安楽・自立の視点から必要な援助を捉える (1) 看護問題の抽出 (2) 看護目標の設定 (3) 具体策の立案	演習	グループで話しあい、まとめる	
3			演習	グループで話しあい、まとめる	
4		1) ワークシートを作成する 2) ワークシートを使って申し送り	演習	グループで話しあい、まとめる	
5		2) ワークシートを使って申し送り	演習	練習する	
6		1) 2事例の行動計画を立案する (1) 申し送りに基づき、根拠を明らかにして実施する援助を判断する。	演習	練習する	
7		(2) 2事例の優先度を判断する (3) 2事例の適切な援助時間を判断する	演習	練習する	
8		1) 行動計画に基づいて援助の実施 (1) 学生が患者役を行い、2名の患者に援助を行う	演習	練習する	
9			演習	練習する	
10			演習	練習する	
11		1) 実践を通して行動計画を立てる (1) 優先順位・援助実施時間・援助方法などについて実施	演習	練習する	
12		可能であるか、演習を通して見極める。	演習	練習する	
13		2) 設定時間内に援助ができる	演習	練習する	
14		援助の発表	演習	練習する	
15		グループごとに援助を発表する。	演習	練習する	
評価方法	講義の出席数・参加態度、提出物(アセスメント・問題・看護計画・具体的援助・評価)、事前学習、実技試験で総合的に評価を行う				
教科書	講師の指定したもの				